

「多職種協働による地域支援体制の構築に向けて」

千葉県は、全国2番目のスピードで急速に高齢化が進んでおり、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、多職種が連携して認知症の人と家族を支援する認知症地域支援体制の構築が急務となっています。

県では、支援関係者の情報共有ツールとして「千葉県オレンジ連携シート(仮称。旧名称:認知症連携パス)」を作成するとともに、関係機関の調整や専門職への助言等を行う「認知症コーディネーター」の養成や、多職種の顔の見える関係づくりの場として「認知症多職種協働研修」の実施に取り組んできました。

こうした県の取組み、また県内の団体等の先進的な取組みなどについて普及・啓発することにより、地域支援体制の構築の促進に向けて本シンポジウムを開催するものです。

◆ 基調講演

「社会全体で支える認知症 — つながる・つたえる・ささえる —」

[座長] 公益社団法人千葉県医師会理事 海村 孝子 氏

[講師] 北海道砂川市立病院精神科部長・認知症疾患医療センター長 内海 久美子 氏

◆ 行政説明

◆ 事業報告

千葉県オレンジ連携シートを活用したモデル事業実施団体による成果報告

- 一般社団法人松戸市医師会
- 佐倉市認知症地域ネットワーク医療介護連携推進協議会
- 社会福祉法人ロザリオの聖母会
- 社会医療法人社団さつき会

◆ パネルディスカッション

[コーディネーター]

- 千葉県認知症対策推進協議会作業部会長
・旭神経内科リハビリテーション病院院長

旭 俊 臣 氏

[パネリスト]

- 佐倉市志津南部地域包括支援センター管理者 鈴木孝好 氏
- ロザリオ高齢者支援センター長 井上 創 氏
- 袖ヶ浦さつき台病院認知症疾患医療センター長 細井尚人 氏
- 浦安市健康福祉部介護保険課ともづな猫実 森林友佳子 氏
- 一般社団法人船橋市医師会理事・船橋市サポート医会会長 山本伸一 氏
- 一般社団法人千葉県高齢者福祉施設協会副会長・武村内科医院院長 武村和夫 氏
- 公益社団法人認知症の人と家族会千葉県支部代表 広岡成子 氏

◆ 日 時 平成26年3月15日(土) 13:30～17:00

◆ 会 場 千葉県教育会館大ホール(千葉市中央区中央4-13-10)

◆ 対 象 医療・介護福祉等の専門職、市町村・地域包括支援センター職員等
300名

[主催] 千葉県 [共催] 公益社団法人千葉県医師会 [後援] 調整中

